

# 現代中国語における“有+VP”構造について

張 仲 霽

**概要：**現代中国語における“有+VP”フレーズは二種類に分けられる。一つは“有请”、“有伤（风化）”など伝統的な用法で、もう一つは“有上课”、“有看医生”など粵語（香港）、閩南語（特に台湾）などの方言に影響された非伝統的な用法である。本稿は主に後者の用例の分布と機能の面から詳しく検討する。

**キーワード：**“有” “有+VP” 助動詞 分布 機能

## 0. はじめに

“有”は中国語において重要な動詞である。しかも、使用頻度が高く、多くの他の語類と共に用いることができる。本稿では主に現代漢語における“有+VP”構造を考察する。“有+VP”構造における“有”的文法的性質について、学者の見解には若干違いがある。趙元任（1968）の記述に基づけば、この“有”は目的語が動詞だから、助動詞と解される。しかしながら、このような“有”は助動詞として用いられると、肯定的な表現には使えない。その上、広東語（および香港、台湾の方言）から標準語に入った新たな用法は“有”が“没有”的肯定的な表現として用

いられることを述べている。宋金兰（1994）によれば、“有+VP”における“有”は完成体と持続体を表す体助詞である。伍文英、夏俐萍（2002）によると、“有+VP”構造におけるVPは单音節である（“若是天道有知”など）という性質があり、目的語と共に用いることができる（“有失矜持”など）という性質もあり、一般に単独では使用しない（“有赖于大家共同的努力”など）という性質があるので、助動詞と見られる。しかし、ある学者は“有+VP”構造における“有”は副詞だと述べている。例えば、张豫峰（1999）によると、“有+VP”構造の“有”は香港、台湾の方言の否定副詞“没有”と意味が反対の、つまり肯定の副詞だと述べている。朱德熙の「文法講義」の記述によれば、“有”は述語が目的語になっている動詞であると述べている。“有”は名詞目的語と動詞目的語の両方を従えるが、動詞目的語には名動詞しか従えない。例えば、“有影响”、“有计划”と言えるけれども、“有写”、“有去”、“有反对”、“有喜欢”とは言えない。朱德熙は“有”の後の動詞が名動詞のときしか使えないと述べている。しかしながら、“有请”、“有劳”、“有伤体面”などの“请、劳、伤”は名動詞ではない、更に名詞目的語を従えるので、この“有”は動詞目的語のみを取る動詞ではないと考えられる。

## 1. 現代漢語における“有+VP”構造

### 1.1 一般的な“有”

現代漢語における“有”を動詞と見るのは問題ないと思われる。多くの場合に、“有”の後に動詞性目的語を従えるので、多くの学者が“有+VP”における“有”は助動詞だと主張する傾向がある。“有”を動詞と見た時、“有”の後の動詞性单語には以下のような制限がある。

- (1) 二音節動詞は直接“有”と一緒に使うが、単音節動詞は“有”とは使わない。例えば、“有影响、有研究、有准备、有帮助”など。このとき、“有影响”的“影响”などは名詞とみなされる。更に、ある単語がすでに字面義以外の派生義になった、“有研究”は字面義の「研究したことがある。」という意味ではなくて、派生義の「ある専門的分野において知識や能力を持っている。」という意味である。
- (2) “有”と単音節動詞を組み合わせて、用いる。たとえば、“有来有往”（人間関係は相手の出方によって対応する。）“有说有笑”（皆が喋ったり笑ったりして気持ちよい。）など。このような単語はすでに固定的な構造になっており、古代漢語から伝播された単語と見られる。
- (3) “有”と単音節動詞を組み合わせて、用いるだけではなくて、以下のような熟語もよく見られる。“有失体统、有伤风化、有负众望、有负所托、有求必应、有备无患、有教无类”などである。このような熟語はその構造から二類に分けられる。
 

（“有失体统”：失態を演じる。例えば：政治家がインタビューの時、お酒を飲みすぎて、答えられなかつたような場合、それを見た人は彼が“有失体统”だと言う。

“有伤风化”：良俗を乱す。現在では多く男女関係についていう。未婚の男女が同棲したり、愛人ができたり、男女が公共の場でキスをしたりするような、傍目に恥ずかしい行為をすると、“有伤风化”と言う。

“有负众望”：皆の期待に背く。「首相が皆の期待に背いた。」「社長が皆の期待に背いた。」など影響力のある人が皆の期待に背いた時、“有负众望”と言う。

“有负所托”：他人に任せられたことを完璧にやってない時、“有负所托”と言う。

“有求必应”：頼みさえすれば必ず承諾する。心が温かい人や親切な人に対して“有求必应”と言う。

“有备无患”：備えあれば憂いなし。出張や旅行へ行くとき、常備薬を持っていく。このようなことを“有备无患”と言う。

“有教无类”：だれかれなく皆教育を受けることができる。政府や学校の方針は“有教无类”でなければならない。)

a. 動詞目的語構造。前例で挙げた“有失体统、有伤风化”など。

このような“有”は単独の動詞と見るよりむしろ形態素として後の動詞と結合し、複合的な二音節動詞になり、後の名詞と動詞目的語構造になる。実例を示す：汪太太是聰明人，一口拒绝。

一來她自知資格不好，至多是个职员，有伤体面。（钱钟书《围城》）（汪の奥さんは社員の分際では資格がないことを知っていて、面目を失う恐れがあるからだ。）

b. 並列構造。前例で挙げた“有教无类、有备无患”など。このような“有”は独立した動詞で、後に名詞化した動詞を伴う。更に2文字の同じような成分と結合して、4文字の固定的な単語になる。

(4) いくつかの動詞は“有”と結合する。“有劳、有请、有烦”など。この“有”は、複合単語の構成成分として使われているのは明らかである。つまり、形態素である。

(5) “无”と一緒に使う。

a. 前者があるが、後者がないという意味を表す。“有过之无不及”（度を過ぎすばかりである。皮肉を込めて悪いことについて言うことが多い。），“有增无减”（増える一方である。人口や失業

- 者や受験者の人数など。)
- b. 前者があれば、後者がなくてもよいという意味を表す。“有备无患”、“有恃无恐”（後ろ盾があるので何ものをも恐れない。権力がある人は法律に違反することをやっても、心配しない。）など。
- (6) 古代漢語から伝わった単語。“有待”（待たなければならぬ；必要がある。「すぐにでも解決しなければならぬ。」問題は“有待解决的问题”と言う）、“有救”（助けることができる。「あなたの病気は助かる」は“你的病有救了”と言う）“有赖”（…のいかんにかかっている。「皆の努力いかんにかかっている」は“有赖于大家的努力”）など。

以上より、真に動詞として使える“有”は（1）だけである。この“有”は一般的な他動詞と考えられる。

## 1.2 “有+VP”における“有”

“有”に関する見解の相違があるのは“有+VP”における“有”である。学者によっては“有”を助動詞とみなしたり、或いは副詞とみなしたりする。この“有”は助動詞と見るのが合理的である。“有+VP”的構文は、Vの意味の中心はVPである、したがって、“有”的動詞性は弱くなる。

語用論的には、“有”的前の文成分は既知情報で、主題である。“有+VP”は全文の意味の中心で、話者が特に強調したい部分である。“有+VP”的構文の役割は主語が表す対象についての評価である。例えば：“有失矜持”（態度がかたいである。多くの場合、言動はまじめだが慎重ではなくて、軽薄なということを表す。）、“有失体面”など。現代漢語の標準語では、“有+VP”的構文を多く書面語として使っているが、言

表1.

作家	作品	数量
老舍	四世同堂	6
老舍	骆驼祥子	2
钱钟书	围城	4
王朔	玩的就是心跳	2
王朔	千万别把我当人	0
王朔	过把瘾就死	0
巴金	家春秋	0
沈从文	边城	0
余华	活着	0
金庸	神雕侠侣	2
琼瑶	还珠格格	1
方方	定数	0
池莉	来来往往	0
池莉	太阳出世	0
安顿	回家	0

葉遣いや態度が上品で、まじめで慎重という意味がある。

### 1.3 現代の作品に“有 + VP” の使用状況

筆者は現代の有名な作品に出現した“有 + VP”構造の使用状況を考察した。考察結果をまとめると、表1のようになる。

以上の表から考えると、若い作者（王朔、方方、池莉、安頓、余华）の作品における“有 + VP”の構文の使用頻度はゼロであることが明らかになった。一世代上の作家（老舍、钱钟书、金庸、琼瑶）の作品における“有 + VP”の構文は比較的に多い。現代になってからは、“有 + VP”の構文における動詞はいくつかの動詞に限られる、更に、多くが

消極的意味の動詞に限られる。老舎の《四世同堂》に出現した例を挙げてみよう。

- (1) 经这一修改, 这所房子虽然在格局上仍然有欠体面, 可是实质上却成了小羊圈数一数二的好房子。  
(こう直すことによって、この家はたたずまいの面では体面を汚しているものの、小羊圈で一二を争う良い家になった。)
- (2) 日本军人们心里很不痛快, 因为这样的简陋的场面颇有损于“帝国”的尊严。  
(日本人軍人たちは不愉快であった、なぜならこんな粗末な光景は「帝国」の威厳を損なうからだ。)
- (3) 教外孙去买花生瓜子什么的, 未免有失身份。  
(孫にピーナッツやグアズなんかを買いに行かせるのは、沾券にかかると言わざるを得ない。)
- (4) 而且, 东阳并没约请他们去参加结婚典礼, 他们也感到有失尊严。  
(更に、東陽さんは彼らを結婚式に招待しておらず、彼らも人に会わせる顔がないと思った。)
- (5) 这使她自己也感到有失体统, 而又不能不顺着语气儿骂下去。  
(これで彼女自身も失敗をしたと感じたが、語気を変えずにののしり続けざるを得なかった。)  
“有欠体面、有损尊严、有失身份、有失体统”などはすべて消極的な意味があり、一定の使用頻度がある。

## 2. 現代漢語に取り入れられた新たな“有+VP”構造

“有+VP”はもともと港台と広州地方の閩粵方言においてよく見られる構造である。近年、内陸の映画、テレビインタビュー番組やインター

ネットなどに“有+VP”構造はよく見られる。しかも、メディアの影響で、芸能人や大学生などの若者が“有+VP”構造を用いると、流行的であり、更にアバンギャルドと思われる。“有+VP”構文は若者間での慣用語と言っても過言ではなく、皆不自然とは考えていない。しかしながら、公文書や学術論文や政治的会議など厳肅な場面では“有+VP”構文を使わない。例えば、黄伯荣、廖序东は《现代汉语》において、この“有+VP”構文を記述した。そこでは規範的ではない文として挙げられているが、教材の中に引用されたのはこの構文が現在影響力のある言葉遣いになっているためであろう。では次の章において、この構文のタイプ、成り立の背景及び語用論的特徴などについて検討しよう。

## 2.1 分布

- (1) 正反疑問文 “有没有+VP”構文の応答としての“有+VP”構造
- A. 白岩松：你作证以后，有没有接到恐吓（电话）？——尾原竹太：有。  
(CCTV1 2001/12/13 《时空连线》)  
(白岩松：尾原竹太さんは証人になってから、脅迫電話を受けたことがありますか？——尾原竹太：あります。)
- B. 王刚：在他（黄玉斌）跟你们训练时，他有没有跟你生过气？——李小双：有。(CCTV3 2001/09 《朋友》)  
(王剛：トレーニングの時に、彼は（黄玉斌）は李小双さんに怒ったことがありますか？——李小双：あります。)
- C. 王世林：你在“神五”上面有没有看到地球的情况？——杨利伟：我在上面是有看到地球的情况。(CCTV4 2003/10/29 《与宇航员——杨利伟面对面》)  
(王世林：宇宙飛行船“神五”で地球の様子を見ましたか？——楊

利偉：はい、見ました。)

A から C の “有+VP” 構造はすべて “有没有+VP” 構文の肯定な返事として用いられている。A と B は “有” だけを使ってる。疑問文中の出来事の「発生」と「存在」を肯定する場合に、“有” は “VP 了” や “VP 过” より簡潔であるので、皆好んで使う。C の答え方は規範的ではない。楊利偉は疑問文に対し、素早く答えたいため、疑問文の構造をそのまま使って、“有+VP” 構造を用いたと考えることができる。

(2) 疑問文 “有+VP+吗” における “有+VP” 構造

- A. 吴宗宪：林立雯，你虽然答对了，但是你真的有看清楚吗？（台湾娛樂番組 2009/04/04 《我猜我猜我猜猜猜》）  
(吳宗憲：林立雯、正しく答えましたけど、本当にはっきり見ましたか？)

- B. 跑车，大家有想过买吗？（2009/02/23 www.ido.3mt.com.cn）  
(皆スポーツカーを買うことを考えたことがありますか？)
- C. 丁洁（对方雨林）：“你母亲住在医院几个月了，你有去看过吗？”  
(連續ドラマ《大雪无痕》)  
(丁潔（相手は雨林）：お母様は入院して数ヶ月経ちましたが、お見舞いに行きましたか？)

- D. 莫愁（对小月）：“你有见过管家伺候仆人的吗？”（連續ドラマ《铁齿铜牙纪晓嵐》）  
(莫愁（相手は小月）：主人が召使の世話をするのを見たことがありますか？)

“有+VP” 構造が直接に疑問文として現れる構文は 2 種類に分けられる。例文 A と B は返事をする必要がある真の疑問文である。しかし、例文 C と D は返事をする必要がないいわば偽の疑問文で、反語文であると考えられる。疑問に「したことがない」或いは「したことが全然な

い」という意味を含んでいる。眞の疑問文、偽の疑問文いずれも、このような疑問文における“有”は事件の「存在」を確認する役割があり、「したことがあるかどうか」という意味である。孫琴（2003）は例文CとDの“有”は“难道”（まさか…ではあるまい）或いは“哪里”（あるものか）という意味を含んでいると述べている。これは反語の意を強めるが、「“有”は“难道”と“哪里”より語気がやや弱いため、使いやすいからである」と述べている。この見解は妥当であると考える。例文Cの意味は：「お母様は入院して数ヶ月経ちましたが、君は見舞うことがあったわけではあるまい」である。つまり、「君は一度も見舞ったことがないですね」という意味を含んでいる。例文Dは「主人が召使いに従うことがあるものか」。このような偽の疑問文は「咎める」と意を明示している。

### （3）平叙文における“有+VP”構造

A. 呂麗萍：抽、抽、抽、抽完你给我含一片儿！

葛优：从这儿到这儿都舒服。

呂麗萍：亿力甘草良咽，清凉滋润，舒畅咽喉。

葛优：我有吃。（亿利医薬廣告）

（呂麗萍：また吸うの？吸ったらこれをなめなさいよ！）

葛优： ああ！全身爽快！

呂麗萍：亿力甘草良咽、のど潤う、すっきり爽やか！

葛优： 僕はもちろん「亿力甘草良咽」。）

この“我有吃”は“我吃了”或いは“我正在吃”より動作“吃”を強調している。ただ“我吃了”或いは“我正在吃”は主役の意図、すなわち、“私は飲んでいるよ、皆さんも！”というニュアンスを十分に伝えることができない。“我有吃”はその気持ちを十分伝えることができる。

B. 我好像在新闻上有看过。（台湾娛樂番組 2009/04/04 《我猜我猜我猜》）

猜猜》)

(私はニュースで見たことがあるみたい。)

“有看过”はただ“看过”的述べるより動作“看”を強調している。

#### (4) 感嘆文における“有+VP”構造

A. 令狐冲：曲洋长老的曲谱已经在你手里了，你为什么还要骗我？

任盈盈：我没有。

令狐冲：你有！（連続ドラマ《笑傲江湖》）

(令狐冲：君はもう曲洋长老の曲譜を持ってるのに、なんで私を騙しているの？

任盈盈：騙してない！

令狐冲：うそだ！)

B. 容耀华：我是秀禾的丈夫，而不是被自己弟弟抢走老婆的丈夫。

容耀辉：可是我没有抢。

容耀华：你有！（連続ドラマ《橘子红了》）

(容耀华：僕は秀禾の旦那だ。自分の弟に妻を奪われ旦那なんかではない。

容耀辉：僕はそんなことしていない。

容耀华：何言ってんだ。)

このような感嘆文における“有+VP”構造はそれぞれの前提として“没有+VP”構造とつながる。会話の文脈から考えると、このような“有+VP”構造は話者の「怒り」、「非難」また「相手に対する強い反論」が極限に達していることを表している。したがって、“有+VP”構造を使うのは“VP 了”よりさらに明瞭で、表す内容も豊富である。

## 2.2 シンタックス

朱徳熙先生は、現代漢語における“有”的目的語は、二音節動詞或い

は主従構造しかなれず、“有”は名詞目的語または動詞目的語を持つことができるが、動詞目的語には名動詞しか用いることができず、更に、主従構造の修飾語には形容詞のみが用いられ、副詞は使うことができないと述べている。例えば、“有影响、有准备、有计划、有调查”などの“影响、准备、计划、调查”は二音節動詞かつ名動詞するために成立する。“有看、有写、有反对、有同意”の場合、“看、写”は单音節動詞で、“反对、同意”は名動詞ではないことから、これらは成立しない。“有深远的影响、有周密的计划”などの“深远的影响、周密的计划”は主従構造かつ修飾語が形容詞であることから、正しいと考えられる。“有在准备、有很调查”などの“在准备、很调查”は主従構造ではないから成立することができない。港台、広東省、福建省に広範囲に話されている閩粵方言では、“有”の後の構成類型はもっと豊富である。

### (1) “有”+主述構造

例：你真的有一个人唱三个吗？（香港凤凰卫视《鲁豫有约》）

（あなたは本当に一つの歌を歌うのに一人で三人役をこなしたのですか？）

現代漢語では、“有+名詞+動詞”構造における名詞と動詞は、もし主述関係であれば、“兼語文”とされる。今まで挙げた例は通常の“兼語文”と異なっている。一般的に、“有”を持っている兼語文の名詞は「不定」の物である。例えば、“有人来了”における“人”は誰であるか分からぬ。“兼語文”的特徴として、“有人来了”という文は意味人“有人”+“人来了”に切り離すことができる。しかし、“你真的有一个人唱三个吗？”の“你”は「特定」の人物の指示である。（もともとのコンテキストは：あるインタビュー番組で、歌手の品冠が《最近比較烦》という歌を歌う際に、自分のパートを歌うのみならず、他のパートナーである歌手周华健、李宗盛の分も歌ってしまうというものである。キャ

スターが上の例文を品冠に聞いている。) 更に、“有一个人”+“一个人唱三个”に切り離すことができないのは切り離してしまうと意味が変わってしまうからである。

#### (2) “有”+動詞目的語構造

A. 孙国豪：美国警察有帮我找回来。(台湾娛樂番組 2009/03/02 《康熙来了》)

(孫国豪：アメリカの警察は私にそれを捜してくれました。)

B. 你的水壺给没收了, 妈妈有责怪你吗? 有骂你吗? (ブログ 2006/11/14 《人生若只如初見》)

(水筒を没収されたのにお母さんは君をしかったり、どなったりしなかったの?)

A の文の“有”には「動作の発生」或いは「存在」を確認する役割がある。B の文の“有”は反語文である。“有 VP 吗”は“没有 VP”と意味上違ひはないが、“没有 VP”より話者の意図がはっきりしている。

#### (3) “有”+連述構造

A. 你们有下厨做过吗? (CCTV8 2005/10/30 《影视俱乐部》)

(あなたたちは自分で料理をしたことがありますか?)

B. 你老婆有烧东西给他吃吗? (台湾娛樂番組 《康熙来了》)

(奥さんは彼にご飯を作ったことがありますか?)

C. 婆婆也有跟着去。(湖南テレビ 2005/09/07 《天下女人》杨澜)

(しゅうとめも一緒に行った。)

上に挙げられた例文における“有+VP”構造はすべて「出来事の存在」或いは「ある経験の有無」について確める役割を果たしている。

#### (4) “有”+兼語構造

例：你有叫警察来了吗? (台湾娛樂番組 2009/03/02 《康熙来了》)

(あなたは警察を呼んだ?)

この例文における“有+VP”構造はすべて「事件の存在」或いは「ある経験について確認」する機能がある。

### (5) “有”+連用修飾語

#### A. “有”+副詞として修飾語

例：a. 季芹：前面已经有先热油了。(2009/04/06 《女人我最大—史上美食家》)

(季芹：前にもう油を温めておいた。)

b. 刚刚门口有站着一个男的，我还记得他穿白上衣。(台湾娛樂番組 2009/03/02 《康熙来了》)

(さっきドアにある男が立っていた、白い上着を着ていたのを覚えている。)

#### B “有”+前置詞句が修飾語となる動詞句

例：a. 你有为了这事跟人打架吗？(台湾娛樂番組 2009/03/02 《康熙来了》)

(あなたはこのことで他人とけんかしたことがありますか？)

b. 你有被骂到哭吗？(台湾娛樂番組 2009/03/28 《我猜我猜我猜猜猜》)

(あなたは泣くまで叱られたことがありますか？)

上挙げられた例文における“有+VP”構造はすべて事件の「存在」或いは「ある経験」について確認する機能がある。

### (6) “有”+動詞目的語構造

例：A. 有看过自己的这些回顾吗？(2006/12/24 《人物》)

(自分の昔の姿を見たことがありますか？)

B. 我有想过我自己所面临的是什么。(2009/02/24 www.csb.net.cn)

(私は自分で何に直面しているかを考えたことがあります。)

上挙げられた例文の“有+VP”構造は事件の「存在」を問うか或いは「ある経験」について述べる文である。

したがって、“有+VP”構造のシンタックス機能は事件の「存在」或いは「経験」を確認するということである。

### 2.3 “有+VP”構造における“有”的機能

“有+VP”構造における“有”にはVPで記述された行為、事件の「存在」を確認する機能がある。“有+VP”構造は「過去のこと」を表せるだけでなく、「すでに、確かに」という意味を表すことも可能である。

例：(1) 我有去过香港。

(私は香港へ行ったことがある。)

(2) 吴宗宪：我一直有在做一个工厂。(2009/02/26 《鲁豫有约》)

(吳宗憲：私はある会社をやっています。)

(3) 黄树祥：你有机会见到他呀，他下半年有来上海。(連続ドラマ  
《爱情汉堡包》)

(黄樹祥：君は彼に会う機会があるよ。彼は下半期に上海へ来るから。)

(4) 我天天有练习听力，终于看到了一些进步。(ブログ www.xiaomeifeifei.live.cn 《加油》)

(私は毎日聞く練習をしています、やっと少し進歩が見えました。)

(1) の文における“有”は“去香港”という事件を確認する。“有”的機能はVPで記述された行為動作が発生したことを表す。つまり、「過去の動作行為」を表す。

(2) の文における“有”は「経営する」という習慣を確認する。一般的

な持続を表す“着”を使わず、“在”を用いて、“一直”、“現在”などと同じ意味を表している。つまり、「習慣の持続」を表している。

(3) の文における“有”は未来における“来”という「動作」を確認する。つまり、「将来の時間」を表す。

(4) の文における“有”は“练习”という「動作」を確認する。“练习”という動作が過去から現在までよく発生すること。つまり、「習慣」を表す。

したがって、“有+VP”構造における“有”的基本的な機能は事件の「存在」を確認すること。“有”には「習慣性」、「過去、現在、将来」について「確認」する機能がある。(1)から(4)の例はインタビューや映画によく現れるが、近い将来に規範化されるのは、まだ難しいと考えられる。

## 2.4 “有+VP”構造における“有”的語用論的意義

文の焦点は文の意味の中心である。話者が最も言いたいことは文の焦点である。“有+VP”構造における“有”には焦点を明示する役割があり、焦点標示語である。次の文を比較してみよう。

这辆车去南京。(この電車は南京に行く。)

这辆车有去南京。(この電車は南京方面に行く。)

“这辆车去南京。”という文には“有”がなく、文の意味上の焦点は文末の“南京”である。話者の明示したいことは「この電車の終点は南京である」である。しがしながら、“这辆车有去南京。”という文には“有”があり、文末の“去南京”が焦点になり、話者の表したいことは「南京が終点」或いは「乗り換駅」である。したがって、“有”には焦点を明らかにする役割があると言える。

## 2.5 “有+VP”構造における“有”的文法的意味

上で論じた分析によると、“有+VP”構造における“有”は「完成体」と見られる。「完成体」は「ある時間以前にすでに発生した」という意味を表す。しかし、ある時間以前にすでに発生したと言っても、必ずしも過去のことを表すとは限らない。英語にもこのようなパターンが存在する。例えば：“過去完了型”、“進行完了型”と“将来完了型”という区分がある。

- (1) 大家如果过去有看我们频道的话，就会看到他的身影了。（台湾娛樂番組 2009/04/14 《我猜我猜我猜猜猜》）  
(皆さんがもしこのチャンネルの以前の番組を見たことがあれば、きっと彼を見たことがあります。)  
参照時間点は“过去”である。
- (2) 你当时有哭吗？（台湾娛樂番組 2009/03/02 《康熙来了》）  
(あなたはその時泣きましたか。)  
参照時間点は“当时”である。  
(1) と (2) の文の“有”は「動作がすでに発生した」ことを表す。
- (3) 你们有吵过架吗？（台湾娛樂番組 2008/11/10 《康熙来了》）  
(あなたたちはけんかしたことがありますか？)  
参照時間点は「会話が行われる時」である。動作“吵架”は「会話が行われる時」までに「発生」したと考えることができる。
- (4) 朋友有在做模特。（台湾娛樂番組 2008/11/10 《康熙来了》）  
(友達はモデルとしてしています。)  
参照時間点は“在”で「進行」を表す。“做”は「会話の行われる時」の動作である。
- (5) 老师，我有在听课！（湖南テレビ 2008/11/29 《快乐大本营》）  
(先生、私はちゃんと授業をしています！)

参照時間点は“在”で「進行」を表す。“听”は「会話の発生する時」の動作である。(4)と(5)の文の“有”は「動作が発生している」ことを表す。

- (6) 大家待会儿有看到这个人, 是哪一位男艺人? (台湾娛樂番組  
2009/04/04 《我猜我猜我猜猜猜》)

(皆さんがこれから見る人はどの俳優ですか?)

参照時間点は“待会儿”である。「未来」の時間を表す。

したがって、“有”の後の動詞はすべて参照時間点の後に発生しているため、“有”は未来の「完成体」の標示であると考えることができる。

### 3. 新しい“有+VP”構造の流行している原因は何か

#### 3.1 言語接触

言語は他の言語との共通点を意識することが可能である。違った言語の間での直接或いは間接的な接触を「言語接触」と呼ぶ。現在、中国では英語の普及に伴い、“有+VP”構造が流行し始めている。英語では、完了型を表すには“have (has) + 動詞の過去分詞”を使う。

例:(1) We have read the news.

(私たちは新聞を読んだ。)

(2) Have you been to Beijing? (北京へ行ったことがありますか?)

----Yes, I have. (はい、あります。)

----No, I haven't. (いいえ、ありません。)

これらの文を直訳すると、“有+VP”構造になりやすい。

(1) の文は“我们有看过新闻。”

(2) の文は “你有去过北京吗？——有。／没有。”

翻訳においては、直訳は意訳に及ばないと言われるが、このような直訳は文の本来の意味を明確に表しているから、皆に受けいれられやすい。実は、英語の映画に出て来る字幕はほとんど直訳である。“有+VP”を用いる多くの若者たちはこの影響を受け、知らず知らずのうちに、“有+VP”構造を用いるようになったのである。

また、言語接触は異なる言語間において発生するだけでなく、同じ言語においても言語接触が存在している。例えば、中国には数多くの方言が存在する。方言と標準語の接触は「方言接触」と呼ばれる。標準語とは北京語音を標準音として、北方語の語彙を標準として、現代白話文によって著された代表的著作で使用されているものを文法の標準とすることである。広東省は中国の南方にある。広東省の北に位置する“五嶺”（越城嶺、都庞嶺、萌渚嶺、騎田嶺と大庾嶺）は、東西と南には海があり、比較的交通が不便だった。そのため、南方と北方の交流があまり栄んではなかった。更に、中原地方では戦争が絶えず発生したため、広東省は相対的に安定していた。したがって、古代から伝播された語彙が多く残されている。邵敬敏によれば、吳、閩、粵と客家方言には“有+VP”構造が使われている。社会の発展と南方の経済力が高まるにつれて、“有+VP”構造が標準語に強い影響力を及ぼす可能性があると言える。近年香港台湾との往来が高まるにつれて、芸能人の言語の与える影響も内陸の若い人達にとって少なくない。したがって、“有+VP”構造が現代漢語に組み込まれる可能性は大きい。

### 3.2 言語における文法システムの調整

“有+VP”構造の流行は上で述べた言語接触以外に、新たな疑問文“有没有+VP”が標準語に取り入れられた点も“有+VP”構造が流行

する原因の一つであると考えられる。90年代の初め、疑問文“有没有+VP”が標準語に導入された。この疑問文はもともと“VP 了没有”だった。例えば：“中国妇女有没有参加生产”（中国人女性は生産に加わったか？）という文は、呂叔湘と朱德熙は「一般的には、‘中国妇女参加了生产没有’と言う。」（『语法修辞讲话』、113）と述べている。改革によって、“有没有+VP”が組み込まれた。邢福义（1990）によると、近年この新しい“有没有+VP”構造が標準語になる可能性があると言う。ここ十数年を経て、“有没有+VP”構造は一般的に認められて、使用されるに至り、中国標準語レベル試験の教科書の《普通话水平测试大纲》では“有没有+VP”構造はすでに規範的な言い方となった。例えば：“你有没有吃过饭？”（あなたはご飯を食べましたか）など。“有没有+VP”が広範囲に使用されると、“有+VP”構造がこの疑問文の肯定の答えとして使われる。更に、“没有+VP”構造は以前から現代漢語において規範的な構文である。例：“我没有去过香港。”（私は香港へ行ったことがない。）“有”と“没有”は標準語において相対的な関係にあるため、“有+VP”構造の出現は偶然ではないと思われる。したがって、言語内部の発展は“有+VP”構造の流行にとって大きな影響を与えていると言える。

「類推」は言語現象が文法化される過程において重要な規則である。Harris と Campbell によれば、「類推」は文法の表面的な変化であり、文法規則が大衆化されて、応用されるのであると述べている。標準語における、“有”と“没有”は相対的な単語である。《现代汉语词典》によると、その相対性は以下の点に見ることができる。

(1) 「所属」を表す

有自行车——没有自行车  
(自転車を持ってる—自転車を持ってない)

有信心——没有信心

(自信がある——自信がない)

(2) 「存在」を表す

屋里有人——屋里没有人

(部屋に誰かがいる——部屋に誰もいない)

这里有超市——这里没有超市

(ここにスーパーがある——ここにスーパーがない)

(3) 「推測」或いは「比較」を表す

他有一米八——他没有一米八

(彼は背が 180 cm はある——彼は背が 180 cm はない)

你有他高——你没有他高

(あなたは彼くらい高い——あなたは彼より高くない)

(4) “谁、哪个”など疑問詞の前に

有谁说过这话——没有谁说过这话

(だれかこんなことを言った——だれもこんなことを言ってない)

「類推」心理によって、話者は構造や意味が似ている単語或いは文を一類のものと考えて、新しい単語或いは文を作る心理的傾向がある。“有”と“没有”は相対的な概念であり、“没有”が動作行為の発生を「否定する」ことができる以上、“有”は動作行為の発生を「肯定する」ことができることになる。したがって、“有+VP”と“没有+VP”が相対的な表現になるのは当然のことであると思われる。

### 3.3 言語の簡潔化

言語の簡潔化は言語の変化にとって大切である。例えば、“你想过了吗?”(あなたは考えたことがありますか?)の答え“有啊”(あるよ)は“我想过了”(考えことがある)より簡潔である。“你见过他妹妹了

吗？”（彼の妹さんに会ったことがありますか？）の答え“有，那天是她帶的路。”（あります。あの日は彼女が案内しました。）よりも“我见过她了”（彼女に会ったことがある）の方が簡潔である。社会経済の発展について、言語も簡潔化がもてはやされ、“有+VP”の流行が促進された。

### 3. 4 “有+VP”構造が今まで標準語に取り入れられていない原因

今まで標準語が“有+VP”構造を取り入れていない原因として、“有+VP”構造が表す意味が関係していると思われる。つまり、“有+VP”構造では“有”は「過去の経験」と「完了」を表しうるが、標準語における“过、了”と比較すると、やはり“过、了”的ほうが「過去の経験」と「完了」という意味をはっきり表すことができる。なぜなら、この修飾構造“有+VP”と標準語の動詞目的語構造の「有+動詞性目的語」は構造が似ているため、はっきり区別することができないからである。例えば：“有进步、有增加、有进展”における“有”は「発生した」或いは「出現した」という意を表すため、もし“有+VP”構造の“有”に「すでに」という意味を認めることになれば、両方の意味が衝突することになる。以上のことから、“有+VP”構造は今まで標準語に取り入れられていないのである。

## 4. 結論

本論文は中国語における“有+VP”構造を二種類に分けた。一つは現代中国語において規範的な“有+VP”構造である。そこでは、“有”的一般的な使い方と“有+VP”構造の果たす機能を分析した。もう一つは近年流行しているが、現代漢語においてはまだ標準的ではない“有

“+ VP”構造である。この“有+VP”構造の分布と文法機能を明らかにし、さらにその流行する原因について分析した。

現代漢語では、上の第二類の“有+VP”構造は標準的ではない。ただし、動態的に考えると、エドワード・サピア（1921）のように、「言語には永遠にそのままの形式を守る理由は存在しない」ということになる。文法現象は非規範から規範になる過程を経ている。例えば、改革開放後の初期には、“很中国”（中国らしい），“很现代”（とても流行している），“很男人”（男らしい）などの言い方は批判されていたが、現在標準語ではそのような言い方は認められている。“挑战”（挑戦する），“备战”（戦う準備をする），“造福”（幸せになる）などの自動詞は本来は目的語と組み合わせることができなかった。しかし、近年“挑战主持人”（司会に挑戦する），“备战奥运会”（オリンピックのために頑張る）と“造福人民”（人が幸せになれるように仕事をする）のように文法的に用いられるようになってきた。このような表現は特別な表現力を有しているため、皆に使われるようになってきたのである。

したがって、今後、第二類の“有+VP”構造が第一類の“有+VP”構造を補完して現代漢語に取り入れられる可能性がある。第一類の“有+VP”構造は多く書面語として使われ、厳肅な意味を持っている。第二類の“有+VP”構造は話し言葉であり、“有没有+VP”と“有VP吗”的答えとして使われ、簡潔な表現効果をもたらす。今後は、この二つの“有+VP”構造がともに現代漢語において使用される可能性がある。

## 参考文献

董秀芳 2000 现代汉语中的助动词“有没有”、《语言教学与研究》第4期。

丁声树等 1999 《现代汉语语法讲话》、北京：商务印书馆。

- 黄伯荣 廖序东 2002 《现代汉语》、北京：高等教育出版社。
- 刘照雄 2001 《普通话水平测试大纲》、长春：吉林人民出版社。
- 吕叔湘 1979 《汉语语法分析问题》、北京：商务印书馆。
- 1980 《现代汉语八百词》、北京：商务印书馆。
- 1984 《汉语语法论文集》、北京：商务印书馆。
- 萨丕尔 1921 (1985) 《语言论》、北京：商务印书馆。
- 邵敬敏 2004 从“企鹅”所得到的启迪——港词趣谈之十一、《语言文字周报》第3期。
- 施其生 1996 论“有”字句、《语言研究》第1期。
- 石毓智 2004 汉语的领有动词与完成体的表达、《语言研究》第3期。
- 宋金兰 1994 有字句新探——有的体助词用法、《青海师专学报》第2期。
- 孙 琴 2003 对话中的“有+VP”句、《南京师范大学学报》第3期。
- 伍文英 夏俐萍 2002 现代汉语的“有+VP”格式、《邵阳学院学报》第5期。
- 邢福义 1990 现代汉语语法研究的两个“三角”、《云梦学刊》第1期。
- 张豫峰 1990 有字句语义分析、《中州学刊》第3期。
- 1998 有字句研究综述、《汉语学习》第3期。
- 赵元任 1968 (2005) 《汉语口语语法》、北京：商务印书馆。
- Harris, Alice C. and Lyle Campbell. 1995. Historical Syntax in Cross-linguistic Perspective. Cambridge: Cambridge University Press.